

# 平成28年度三重県の市町民経済計算のポイント

平成28年度三重県民経済計算の結果を基に、各種の統計数値を基準にした「按分方式」により地域や市町における総生産及び市町民所得の「推計」を行いました。

## 【推計結果の概要】

### 1 市町内総生産及び市町民所得の上位5市町

- 市町内総生産は四日市市が1兆8,671億円で県内1位となり、次いで津市(1兆2,408億円)、鈴鹿市(9,690億円)、松阪市(5,289億円)、桑名市(5,109億円)の順となりました。
- 市町内総生産の対前年度増加率は県内19市町でプラスとなり、多気町では製造業が大きく増加したことなどから、74.6%増と最も高い増加率になりました。
- 一人当たり市町民所得では、いなべ市(424万5千円)が一人当たり県民所得の額(315万5千円)を大きく上回り、県内順位は6年連続の1位となりました。

(表1)

順位	市町内総生産		対前年度増加率		一人当たり市町民所得	
	市町名	(億円)	市町名	(%)	市町名	(千円)
1	四日市市	18,671	多気町	74.6	いなべ市	4,245
2	津市	12,408	亀山市	32.9	川越町	3,723
3	鈴鹿市	9,690	朝日町	18.8	四日市市	3,627
4	松阪市	5,289	鈴鹿市	11.5	亀山市	3,496
5	桑名市	5,109	菰野町	9.6	朝日町	3,472

※対前年度増加率は、名目値(時価による表示)の「経済成長率」を表しています。

※一人当たり市町民所得は、企業の所得などを含んだ市町民経済全体の所得水準を示すものであり、住民個人の所得や賃金水準を表すものではありません。

### 2 地域別市町内総生産

- 地域別市町内総生産では、北勢、伊賀、中南勢、東紀州地域で前年度から増加しました。
- 特に増加率が高かったのは北勢地域の4.3%増で、建設業、宿泊・飲食サービス業、製造業などが増加しました。

(表2)

	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
地域別市町内総生産(億円)	45,194	7,536	19,417	7,982	2,080
対前年度増加率(%)	4.3	3.4	3.4	▲ 1.2	1.5

※総生産=産業+輸入品に課される税・関税等

### 3 地域別一人当たり市町民所得

- 地域別一人当たり市町民所得では、北勢地域(348万円)が一人当たり県民所得の額(315万5千円)を上回りました。

(表3)

	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
地域別市町民所得(億円)	29,262	5,165	14,701	6,307	1,619
一人当たり市町民所得(千円)	3,480	3,075	3,011	2,624	2,304
同(県民所得=100)	110.3	97.5	95.4	83.2	73.0

※(分配)所得=雇用者報酬+財産所得+企業所得

※一人当たり市町民所得=(雇用者報酬+財産所得+企業所得)÷市町民人口

注1) 各計数は県民経済計算の結果を按分したものであり、積上計算によるものではありません。

注2) 表中の数値は単位未満を四捨五入しているため、県全体の総数と地域別の合計が異なる場合があります。